

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!



答島21世紀会 (津乃峰地域)

愛着ある津乃峰地域のために何かできないか。「答島21世紀会」は、同地域在住の教員退職者のそんな思いから結成された。初代会長の高島光彦さん(76歳)を旗頭に有志が集い、津乃峰小学校の支援という形で地域貢献を始めてはや11年。現在は教員退職者のみならず会則の趣旨賛同者も加わり、21人が年間を通じて多彩な取組を行っている。

活動はそれぞれの会員が得意分野で参画するため、とにかく幅広い。内容はオリエンテーリングなどの学校行事の補助をはじめ、校庭の環境整備や交通安全教室の実施など。時にはゲストティーチャーとして学校に出向き、地元の夏祭りの歴史や過去の地震津波体験について授業を行ったり、おはじきや竹とんぼなどの昔ながらの遊びを一緒に楽しんだり、家族や学校の先生とは少し違う、地域の「じいちゃん」「ばあちゃん」の立場から、子どもたちの成長を後押ししている。



「今日は元気がないな、という子には特に積極的に声をかけるように心がけています」。そう話すのは、毎朝、通学路に立って交通指導を続けている美馬義明さん(75歳)。「親や学校だけでなく地域の大人からも「見守られている」という感覚は、子どもたちが安心して暮らせるために大切なもの。さまざまな活動を通して得られる子どもたちの明るい笑顔や会員同士の交流は、私たちの生きがいにもつながっています」。

2014年には津乃峰小学校区学校支援地域本部として、文部科学大臣表彰を受賞。日々少しずつ積み重ねてきた活動が認められたということで、会員の皆さんは今まで以上にやる気を見せている。

新学期が始まってもうすぐ1カ月。津乃峰小学校区では今日も、答島21世紀会の皆さんの優しいまなざしが子どもたちを見守り続けている。